

# 専門実践教育訓練明示書

講座の名称	科学技術コミュニケーター養成プログラム 本科		
実施方法	① 通学（昼間・夜間・土日） ② 通信 スクーリング(回数 回)		
指定講座番号(15桁)	0112017	—	2510011
講座の創設年月日	専門実践教育訓練給付金対象講座の指定期間 平成18年7月1日 令和10年3月31日まで	過去一年の講座実績	入講者数(24人) 修了者数(23人)
訓練期間	9ヶ月	総訓練時間	155時間
<b>1. 教育訓練目標</b>			
①取得目標とする資格の名称、目標レベル	<input type="checkbox"/> 業務独占資格・名称独占資格 ( ) <input type="checkbox"/> 職業実践専門課程 ( ) <input type="checkbox"/> キャリア形成促進プログラム ( ) <input type="checkbox"/> 専門職大学院 ( ) <input checked="" type="checkbox"/> 職業実践力育成プログラム ( 科学技術コミュニケーター ) <input type="checkbox"/> 情報通信技術関係資格 ( ) <input type="checkbox"/> 第四次産業革命スキル習得講座 ( ) <input type="checkbox"/> 専門職大学、専門職短期大学、専門職学科 ( ) 教育訓練を通じて取得を目指す上記以外の資格等		
②①に係る資格・試験等の実施機関名称	北海道大学		
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等	講義・演習をすべて受講し、かつ所定の課題を提出し、実践演習の出席率が70%以上を目安に参加した場合に修了を認める。		
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されている業界と活用状況	科学技術コミュニケーターは、科学のおもしろさや科学技術をめぐる課題を人々へ伝え、ともに考え、意識を高めることを目指した活動を担う人材であり、科学技術イノベーション基本計画においてもその活動は明記されている。本講座の修了生は、学校現場等における科学技術コミュニケーション活動、研究所や企業における科学技術のアウトリーチ活動に効果的に従事することが可能になる。		
<b>2. 教育訓練の内容</b>			
教科 (カリキュラム)	時間	使用教材名	
科学技術コミュニケーションの入り口	13		
科学技術コミュニケーションの基礎	27		
科学技術コミュニケーションの実践の知恵	27		
科学技術コミュニケーション演習Ⅰ	12		
科学技術コミュニケーション演習Ⅱ	12		
アートで現代を考える	12		
CoSTEP実践演習	52		
<b>3. 受講者となるための要件（この講座を受講するために必要とされている条件など）</b>			
①受講するに当たって必要な実務経験等			
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準	・学校教育法第105条に規定する入学生に入学することが出来る者 ・大学を卒業した方、またはそれと同等のリテラシーを有する者 ・本学の規程に定める者		
③その他			
〔特記事項〕			